

学習三原則 — 生活を正す 目標を持つ 継続する



育友会報

学校法人飛騨学園 高山西高等学校

〒506-0059 岐阜県高山市下林町353
TEL0577-32-2590/FAX0577-33-9911

発行 第49号(卒業記念号)
高山西高等学校 育友会 文化委員会
URL http://www.takanishi.ed.jp



ISO14001認証取得



育友会長 田中 宏

勸君莫惜金縷衣／勸君須
惜少年時／花開堪折直須
折／莫待無花空折枝

「むまのはなむけ」

3年生の皆さんご卒業おめでとうございます。この3年間はいいかだったでしょう。か。学業や部活動、酸いも甘いも皆それぞれに思い出があるうかと存じます。人生80年とも90年とも言われる現代では3年なんてほんの一瞬、わずかな期間ではかありません。でも、不思議と若い時の1年はとても濃くて魅力的で印象深いものです。皆さんにとつて、この西校生活が人生の大きな糧となつてくれると思ひます。

私が上京する時、祖母は「東京の人間は鬼やと思え」と言いました。祖父が東京生まれなので、変なことやうなあと笑つて進学をしました。当時は大学生が専門学校などに通うWスクールが流行つていて、私にも英会話スクールの勧誘がありました。美人のお姉さんが説明だけでも聞きに来いとやうので、行つてみたら強面のおじさんが現れて一通りの説明の後、280万のローンを組んで今すぐ入会しろと言ひのです。断つてもはぐらかされて、半日監禁されてしまいました。夜になつてようやく解放されましたが、危うく十八歳で借金を背負わされるところでした。

当時、二十歳まではローンを組むのに親の同意が必要でしたが、今では十八歳で成人となり、自分の判断でローンが組めるようになりました。鬼は必ずここを狙つてきます。お金の管理だけはくれぐれも気を付けてほしいと思ひます。これはごく一例にすぎませんが、娯楽の世界は想像以上に厳しく冷酷です。弱肉強食の荒波をたくましく乗りこなし、この社会を楽しく生き抜いて下さい。

さて、これらを踏まえて冒頭の漢詩は、大学の最初の授業で入学祝いと称して習つた『全唐詩』中の一首です。
教授と同様の想いで卒業の鼻向けとして皆

さんに贈りたいと思ひます。
金縷(きんる)の衣とは、金の糸で織られた高価な衣裳。

君に勧む惜しむ莫かれ金縷の衣／君に勧む須らく惜むべし少年の時／花開きて折るに堪へなば直ちに須らく折るべし／花無きを待ちて空しく枝を折る莫かれ／と読み、これを詩人の伊藤春夫は「ただ若き日を惜め」と題して、綾にしき何をか惜しむ／惜しめたただ君若き日を／いざや折れ花よかりせば／ためらはば折りて花なし／と訳してあります。「軍塵集」

悔いのないやう、自分がやりたいことを今、存分にやつて下さい。
そして、最後になり申し訳ありません。先生方におかれましては、子供たちを熱心にご指導賜りました。生まれた時を思いながら、子の背中を眺めると本当に感謝しかありません。ありとうございました。

「さらなる飛躍を願つて」

校長 谷口 正彦



卒業生及び
保護者の皆様へ

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうござひます。また、卒業生の保護者の皆様には、本校の教育にご理解いただき、様々な面でご協力いただきましたことに心より感謝を申し上げます。

卒業を間近に控えた皆さんにとつて、この高山西高校の3年間はどのようなものだったでしょう。か。西高祭や体育祭をはじめとする学校行事には、様々な思い出が詰まつていてと思ひます。クラスの仲間と共に何かを作り上げた経験は、確実に君たちを成長させてくれたことでしょう。また、高山や金沢での別研修や北海道への研修旅行は、仲間との絆を深める機会になつたと思ひます。人は一人で生きていくことはできません。縁あつて知り合い、良い関係を築くことができた仲間を、今後も大切にしてください。そうすれば、自分の幸せが、周囲の人たちの幸せと共にあることを、より深く理解する

ことができるでしょう。

君たちが無事に卒業式を迎えられることは非常に喜ばしいことですが、この卒業式はゴールではありません。君たち一人一人が自分の夢を叶えるための通過点でもあります。これから自分の夢を叶えるために地道な努力を続けてください。自分が諦めない限り、夢が終わることはありません。自らの輝かしい未来のため、そして、あなたを信じて支えてくれる人々のためにも、自分の人生に全力で取り組んでください。もちろん、楽なことばかりではないでしょう。ときには苦しくて何もかも投げ出ししてしまうようになることもあると思ひますが、西高校での3年間の生活は、そのような状況に耐え、一歩ずつ前に進む力を育んでくれたはずですから。たとえ紆余曲折があろうとも、君たちは困難を乗り越え、必ずや夢を掴んでくれると信じています。

最後に、西高校の門は、君たちに対して常に開かれていることを覚えておいてください。西高校には君たちのことを深く理解し、その成功を心から願つている先生方がいます。高校を卒業した後も、それぞれが選んだ道での活躍を報告しに来てください。それは後輩の夢となり希望となつて、さらに西高校を発展させることになるでしょう。我々教職員も、君たちの母校である西高校の持続的な発展のために一丸となつて頑張ります。そして、君たちがいつまでも母校として誇れる学校にすることを誓ひます。卒業生の皆さんや保護者の皆様と未永く良い関係を築いていけることを願うと共に、本校に関わる全ての人々のご多幸を祈念いたします。お祝ひの言葉とさせていただきます。

「経験値を高めること」

以前、鮎の養殖の第一人者である岐阜大学の教授の講演を拝聴したことがあります。養殖の鮎が我々の食卓に届くようになるまでには多くの困難があつたそうですが、私は養殖が成功した後に持ち上がった一つの問題に興味をもちました。

ご存知のように、鮎という魚は藻類を食する川魚です。川を遡上し、環境の良い場所に定着して自分の縄張りをつくるのですが、養殖が成功した後、川に放流しても集団で泳いでいて遡

上せず、縄張りに他の魚が入ってきたりも攻撃しない鮎が増えたのだそうです。「これでは友釣りができない」と、釣り人の苦情も増えました。鮎の友釣りは、罾(おとり)の鮎と針を結びつけた釣り糸を垂れ、縄張りに侵入した罾の鮎を攻撃する鮎が針に掛かるのを狙う釣法だからです。

この問題の解決策は、非常にシンプルなものでした。それは「養殖鮎の中に天然鮎を入れる」です。遡上する天然鮎を追って養殖鮎も遡上を始めたのですが、一度でも川を遡上する経験をした養殖鮎は、二度目以降は天然鮎がいなくても遡上できるようになったそうです。養殖鮎は、天然鮎から「川を遡上する」という行動を学んだのでしよう。

私たちも他者から学び、様々な経験を積み重ねることによって人生における様々な試練を乗り越えていく力を身に付けます。たとえば、高校の化学では物質量の計算について学びます。「そのような知識は高校を卒業したら必要なくなる」という人もいますが、たとえそうだととしても、授業を通して様々な知識を学ぶことには意味があると思います。授業で先生から学んだことを理解し、復習をして定着させ、多くの問題を解いて知識を使いこなす力を高めていく経験は、人生の試練を乗り越えるための問題解決能力を着実に高めてくれるからです。授業だけではありません。部活動や各種の学校行事を通して先生や仲間から学んだことも、あなたが真剣に取り組んだことすべて、あなたの成長につながっていくでしょう。「学校」は、私たちが生きていくための基本的な力を磨く「鍛錬の場」なのです。

本校は、生徒が自分で決めた目標に向かって一生懸命に頑張ることができ、環境を整え、全面的にサポートします。生徒が様々なことへの挑戦を通して先生や仲間と共に学び、経験値を高めてくれることを願っています。



一年を振り返って

教頭 横田 匡司

卒業生及び保護者の皆様へ

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございませう。また、卒業生の保護者の皆様には、本校の教育にご理解をいただき、様々な面でご協力いただいたことに心より感謝いたします。

卒業生の皆さんの晴れやかな姿を見て、私たち教職員一同、大きな喜びと誇りを感じています。振り返れば、皆さんの高校生活には、数多くの思い出が刻まれています。そして、皆さん一人ひとりが成長を遂げた足跡が浮かんできます。部活動では、仲間とともに汗を流し、技術を磨き、目標に向かって切磋琢磨していました。勉強においては、時に壁にぶつかりながらも、諦めずに挑み続け、多くのことを学び、成長してくれました。学校行事においては、コロナ禍以前とほぼ同様に実施することができました。体育祭や文化祭では、クラス全員、団全員が力を合わせ、どの学年にとっても初めてという困難を乗り越えながら、互いの絆を深め、思い出に残る瞬間を数多く作り上げてくれました。北海道での研修旅行では、日常を離れた新たな環境の中で、新しい発見や学びを得ることができました。困難に直面したとき、それを乗り越えるたびに皆さんが成長し、周囲との絆をさらに深めてきたことを、私たちは目の当たりにしてきました。

今後、夢を持ち続け、それに向かって努力を重ねながら、良い人生を歩んでください。夢には終わりのない卒業もありません。この西高校での3年間の生活で得た経験や学びは、皆さんのこれから的人生に必ず役立つと確信しています。また、何か困ったことや悩みがあったとき、行き詰まったときは、いつでも学校を訪ねてください。西高校には、皆さんのことをよく知り、深く理解し、そして大切に思っている先生たちがいます。高校を卒業し、新たな一歩を踏み出す皆さんが社会に出て活躍する姿を、私たちは心から期待しています。それはまた、西高校のさらなる発展

にもつながることと思います。

私たち教職員も、皆さんの母校である西高校をより層発展させ、誇れる学校であり続けるために、一丸となって努力を続けてまいります。そして、いつまでも皆さんが「母校」として愛し、誇りに思える存在であり続けることを約束いたします。

卒業しても、皆さんは西高校ファミリーの一員です。このことは、保護者の皆様にもご理解いただき、今後とも温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今年度の進路実績

本校は、平成元年から「生活を正す」「目標を持つ」「継続する」という学習三原則を掲げ、学習改革に取り組んでまいりました。その中で、以下の3つを重点目標として改革を進めてきました。1つ目は、進路実績の向上です。生徒がなりたいた職業に就ける。「行きたい学校に進学できる」ように全力で支援してきました。2つ目は、部活動の強化です。部活動を通じて心身を鍛え、生徒たちが誇れる活動となるよう努めてきました。そして何よりも、3つ目として、社会で通用する人材の育成を目指しました。「西高の卒業生はすごい」と社会から評価される生徒を輩出することを目標にしてきました。これらの取り組みの方向性に間違いはなかったと、卒業生や在学生の姿から、今改めて確信しております。

今年度も生徒たちが本気で努力を重ねた結果、就職・進学ともに素晴らしい実績を残すことができました。ここで、今年度の進路実績についてご報告いたします。まず、就職状況については、就職希望者13名全員(うち公務員7名)が内定をいただきました。次に進学状況ですが、1月23日現在、4年制大学には80校(うち国立13校、短期大学には8校、専門学校には18校で合格が決定しています。なお、私立大学の一般試験や国立大学の二次試験の結果はまだ

出ていませんが、現在も学校で懸命に勉強を続けている生徒たちが大勢います。最後まで全力を尽くしてくれるものと期待しています。

大学入試を取り巻く環境と今後の展望

大学入試は、少子化や社会の変化により大きな変革を迎えています。特に、年内に実施される「総合型選抜」や「学校推薦型選抜」が増加しています。これらの入試方法は、学力だけでなく、個性や活動実績を評価するため、受験生は早期に進学先を決定できるメリットがありますが、学校間で格差があるため注意が必要です。また、少子化の影響で大学は多様な人材を受け入れるために、選抜方法を柔軟に変更しています。私立大学では特に年内入試を積極的に活用し、受験生を確保しています。このため、受験生と保護者は、選択肢が増える一方でどの選抜方法を選ぶべきか、十分に情報を収集することが大切です。2021年から導入された「大学入学共通テスト」は、思考力を重視した問題が増え、単なる知識の詰め込みから、より柔軟な学力が求められるようになってきました。これにより、受験生は今まで以上に早期から計画的に準備を進める必要ができました。また、入試の多様化により、高校と大学、さらには保護者様との情報共有がますます重要になってきています。進路選択において、受験生が自分の進みたい道を見つめるため、高校と家庭が協力して、子どもを支援する体制を整えることが大切です。

今年度の大学入学共通テストは、新学習指導要領下で初めて実施されました。従来のセンター試験から改定された共通テストは、思考力・判断力を重視した問題が増え、単なる知識の詰め込みだけでは対応できない形式になっています。そのため、受験生にはより一層の柔軟な思考と論理的な解答力が求められるようになってきました。特に今年度のテストでは、数学や英語、国語の問題において、単に答えを求めただけでなく、問題の意図を読み取る力や状況に応じた判断力が試される場面が増えました。例えば、英語のリスニングでは、会話のニュアンスや文脈を理解しながら解答する問題が多く、受験生には英語の基礎力だけでなく、実際のコミュニケーション力が試されたと言えます。また、国語では、長文読解において思考力や抽象的な理解力が求められ

る問題が増加し、文章内容を深く理解し、具体的な根拠に基づいて解答を導く力が重要視されました。数学でも、従来の計算問題に加えて問題文を読み取る力や論理的思考を必要とする問題が目立ちました。このように、共通テストは、学力の高さだけでなく、受験生の総合的な思考能力や実践的な問題解決力を問う方向へと進化していることが明確に感じられました。受験生にとっては、ただ教科書の内容を覚えるだけではなく、日常的に思考を深める姿勢が求められるようになっていきます。今後の共通テストについては、さらに問題の難易度や形式が多様化するとされており、これに対応するためには、受験生の柔軟な思考力や課題解決能力を育む教育の重要性が一層高まることが予想されます。

本校では、生徒たちが不利益にならないように、今後どの高校よりも様々な情報の収集や最新・最善の対策に努めてまいります。本校では、今年度61名の生徒が共通テストを受験しました。受験生の努力もあり、実力を発揮できた生徒が多かったように感じています。普段とは異なった緊張感の中、思わぬ結果であった受験生もいましたが、受験生には結果に一喜一憂せず、それぞれの夢の実現に向けて、力強く歩を進めていってほしいと思います。本校の生徒は、国公立大学の二次試験・私立大学の一般入試まで、初志貫徹の強い意志を持って、計画的な学習に徹し、努力を必ず合格という形にしてくれると信じています。また、1年生・2年生は、大学入学共通テストの変化を踏まえ、計画的に学習することで少しずつでも目標点に近づきそれを超えていけるように頑張つてほしいと思います。

部活動の状況

部活動においても優秀な成績を出してくれました。2024年4月1日から2025年1月23日までの大会の結果を以下に記します。なお、個人種目については、入賞者のみ氏名を記載しています。

アジア大会

- U17アジアレスリング選手権大会
男子個人グレコローマンスタイル1名
(3位 堤 大智)

全国大会出場

- JOCジュニアオリンピックカップ大会・全日本ジュニアレスリング選手権大会
男子個人グレコローマンスタイル2名
(準優勝 堤 大智)
- JOCジュニアオリンピックカップ大会・レスリング選手権大会
女子フリースタイル3名
- 「ありがとうを強さに変えて」
北部九州総体2024(インターハイ)
レスリング男子フリースタイル2名
(3位 堤 大智)
- レスリング女子フリースタイル2名
剣道女子団体・女子個人
アーチェリー男子個人
- 全国高校生グレコローマンレスリング選手権記念大会
男子グレコローマンスタイル3名
(2位 堤 大智, 3位 飯山 福斗)
- SAGA2024 国民スポーツ大会
岐阜県選抜選手として、レスリング男子2名
(3位 堤 大智)、剣道女子5名(5位)、バスケットボール男子5名が出場
- 全日本女子オーブンレスリング選手権大会
女子フリースタイル(3位 直井詩空)
- 全国高校バスケットボール選手権大会(ウインターカップ) 男子バスケットボール
全国バソコン技能競技大会
日本語ワープロ競技の部
(団体2位、個人2位 長瀬 智煌)
- 全国高校生英語デイベート大会
○全日本高等学校吹奏楽大会in横浜

東海大会出場

- 東海高等学校総合体育大会
レスリング男子フリースタイル3名
(3位 飯山 福斗)
- レスリング男子グレコローマンスタイル3名
(2位 飯山 福斗)
- レスリング女子フリースタイル4名
(3位 今井 七緒, 3位 直井詩空)
- 剣道男子団体・男子個人・女子個人4名
(優勝 小山 詩乃)
- 陸上10名
アーチェリー男子団体・男子個人4名
ハンドボール

- 東海高校新人大会
陸上11名
- 東海高等学校駅伝競走大会
男子
- 東海高校選抜大会
レスリング男子フリースタイル3名
(1位 堤 大智, 3位 飯山 福斗, 3位 圓山 礼心)
- 東海吹奏楽コンクール 銅賞
剣道男子団体・女子団体
ハンドボール

男子バスケットボール(3位)

以上のように、多くの部が優秀な成績を収めてくれました。本来であれば、出場者全員を紹介することが望ましいのですが、今回は入賞者のみを紹介します。また、県大会ではさらに多くの部が優秀な成績を収めています。詳しくはホームページをご覧ください。

部活動の成果は、目に見えない形で成績だけではありません。体育会系部活動、文化系部活動とともに、生徒たちは毎日の活動に真摯に取り組んでおり、その姿は本日に輝いています。部活動を通して、人間として大きく成長していることが感じられます。

そして、それが生活する上での自信につながるように思われそのような姿は誇りです。



育友会活動報告(後期)

令和6年

7~8月/請願署名運動

署名総数 351,460名(本校17,440名)
来年度補助金額(1人当たり)381,830円
以上の結果となりました。ご協力ありがとうございました。

8月23日/模擬面接(3年生の就職希望者対象)

9月25日/飛騨地区高等学校育友会連合会指導者研修会

11月 1日/岐阜県高等学校PTフォーラム

11月13日/私立高等学校保護者連合会第2回常任幹事会

令和7年

3月中旬/第2回役員会

3月中旬/育友会選考委員会

さらなる飛躍を目指して

今後、高山西高等学校は、文武両道を実現し、さらなる飛躍を遂げなければならぬと強く感じています。本校のキャッチフレーズのひとつに「生徒が自慢の高校」という言葉があります。西高校の生徒たちは、日々の勉強や部活動において、まさに生きたむきで、一心不乱に努力を重ねる姿を見せてくれます。その姿は、私たちにとても大きな誇りであり、目の前の生徒たちの「夢」を叶えるために全力を尽くさなければならぬという使命感でいっぱいになります。生徒たちが自分の夢に向かって突き進む姿を見ると、私たちも共にその夢を叶えたいという強い思いに駆られ、そのような生徒と学校生活を共にできることに、日々感謝の気持ちが溢れます。

私たち教職員一同は、今一度、その大切なお子様たちをお預かりしている責任を心に刻み、生徒一人ひとりの「夢を叶える」という願いに全力で応えていきます。

そして、何よりも「自慢の生徒たち」とともに、更なる高みを目指して共に成長してまいります。そのため、どんな困難が待ち受けていても、私たちは全力でサポートし、熱い思いを胸に歩んでいきます。

「次男の夢のための選択」

3年保護者 荒木 敬一

「ゾウガメを飼いた〜い！欲しい〜い！」
保育園の頃、次男はテレビで見たゾウガメ
を家で飼いたいと地団駄踏んでひっくり
返って泣いていました。ダンゴムシ、カマ
キリ、カメ、メダカ、イモリ、カニ、カブトム
シ、鳥……これまで飼った生き物は数知れ
ず。小さい頃から生き物に強く興味を持
ち、小学生の頃には獣医になりたいと言っ
ようになりました。

既に西高特進1クラスに進学していた
長男を見て過ごしました。朝から晩まで勉
強漬けの毎日を通す長男を見て、獣医に
なる為には西高特進1クラスだと考えた
よう、次男は自分で高校を選びました。

次男の3年間の西高での様子は、やはり
勉強している姿が一番強く印象に残りま
す。早起きが苦手、毎朝何度も起こ
されながら7時に登校。送迎の車に
乗り込むなりすぐに寝てしまいま
す。18時30分まで学校で過ごし、その
帰りに図書館に寄って22時まで予習
復習。春も夏も冬も長い休みはほと
んど補習の毎日。それでも淡々と
日々を過ごし、やっとここまで辿り
着きました。遊びもゲームもやりた
い事も、将来の夢のためにじっと我
慢した3年間でした。1年生の時に
は、いくつかの大学のオープンキャ
ンパスに参加し、志望校をどこにす
るか決めました。2年生は文化祭や
体育祭、修学旅行を楽しむことが出
来ました。3年生になってからは担
任の先生の全面的協力のおかげで小
論文などの受験対策に早々から取り
組み、無事第一志望大学に合格する
ことができました。根気強く勉強が
続けられたのは獣医になりたいとい
う確実な夢があった事、クラスの仲



間と、背中を押して下さる沢山の先生に恵
まれたことがとても大きかったと思いま
す。3年間を通してあまり学校の話しはし
ませんでしたが、色々な先生方に都度声
かけてもらいました。先生方一丸となって
応援していただき、親としても安心して3
年間、毎日送り出すことができました。
次男の夢はまだ道半ば。いずれは高山へ戻
って来たいという思いがあります。これか
らも勉強の日々が続きますが、この3年間
を乗り越え自信がついたと思います。新し
い環境でも頑張ってくれることを願いま
す。

最後に、次男の3年間を支えてくれた
3Gの仲間、そしてお世話になった先生
方、本当にありがとうございました。

「素敵な仲間と高山と」

3年保護者 松谷 まゆみ

本当に三年間はあっという
間で、息子の高山での生活も
ひと区切りとなりました。息
子はこの町で、たくさんの仲
間に力もらい支えられ、大
きく成長させてもらったと今
強く思います。

初めてバスケット部の練習に参
加させてもらった帰り道、練
習の雰囲気は憧れ仲間になり
たいという希望を持った息子
は加えてこう言いました。
「この景色が好きだなあ。」
なぜかこの言葉に(この子は
高山西高校でならばきっと最後まで頑張
れる)と確信が持てました。あの感覚が
この間の事のように感じます。



地元を離れ寮生活になり、息子の様子
を近くで感じることは難しくなりまし
た。連絡をしても返事は短くあっさり
としたもので、余計に不安になっていた頃
もありました。そんな中、時々見せてもら
う仲間たちとの写真や動画がどれもとて
も楽しそう、その笑顔が全てで良いの
だろう、私にできる事は息子に負けない
くらいに全力で応援する事なのだろうと
気持ち切り替える事ができました。
それから幾度か足を運んだ学校や試合
会場で私の目に映る息子や仲間たちの光
景は胸にぐっとくるものがありました。
いつも人懐っこい笑顔で挨拶してくれ
る彼らの中で息子は、大きな声で笑い、飛
び跳ねて喜び、時に悔しさに涙を流して
みんなと肩を抱き合っていました。寝食
を共にし、格好良い所も格好悪い所も見
せ合ってきた仲間とだからこそ、お互い
がこんなにも素直に感情が出せ寄り添い
合えるのでしょうか。息子も親の知らない

所でたくさん苦勞があったはずですが。
自分なりに考え、周りに助けられ支えら
れて仲間と共に乗り越えてきただろうと
後から気づかされ、気の利いた言葉をか
けてやる事ができなかった親の無力さを
未だ反省するばかりです。
最後の冬、念願の全国大会出場を果た
しました。最後までバスケット部全員が自
分のできる力を惜しみなく出し切って、O
NETEAMとなって戦っている姿は本
当に素晴らしく、彼らをいつまでも応援
していきたいと思わせてくれました。
高山での3年間、息子はもちろん、私もた
くさんの大切な出会いと経験をさせても
らいました。親として、子にしてやれた事
はほんの少しでしたが、息子は間違いな
く仲間と共に大きく成長したと思ってお
ります。ここでの縁に感謝をし、仲間と
の強い力を糧にこの先の人生も自分らし
く進んで欲しいと願っています。
この場を借りて、ご指導下さった先生
方、お世話になった皆様、そして高山の町
にお礼申し上げます。本当にありがとう
ございました。

「いちばんたいせつなことは、目に見えない」

3年F組 宮田 桜佑



張る力を身につけることができました。また、この学校生活で「時間」の大切さも学びました。担任の先生が何度も注意してくださった「時間」という言葉は、僕たちの耳に残り続けています。遅刻が多かった僕たちですが、先生方の姿を見て考えさせられました。僕たちが登校する前から学校を開錠し教室を整えてくださる先生方の姿を見て、僕たちがいかに甘えていたかに気がつきました。社会では、時間厳守が基本であり、遅れることで周り全体に迷惑をかけることにもなります。高校で学んだ「時間」というものを今後活かしていきたいと思っています。

そしてこの場を借りて、クラスメイトや先生方に感謝の気持ちを伝えたいです。僕たちのクラスは、男子7人、女子7人の14人クラスでした。3年間クラス替えがないことに最初は戸惑いましたが、今ではこのメンバーで過ごせたことが本当に価値のある時間だったと感じています。みんなが優しく、支え合うクラスの雰囲気は僕にとって心の支えでした。先生方は、僕たちを温かく見守り、時には励まし、時には厳しく指導してくださりました。登校時の挨拶や小さな相談にも真剣に向き合ってくださいましたことは、本当に感謝しかありません。この学校で過ごした3年間は、僕にとってかけがえない宝物です。これらの経験を活かして、これからも目に見えない大切なものを忘れず、努力を続けていきたいと思っています。そしてこの3年間で得た「友情」「努力」「感謝」を大切に、社会に貢献できる人間になりたいと思います。

「いちばんたいせつなことは、目に見えない」これは、サン＝テグジュペリの『星の子さま』に登場する言葉です。この言葉が示すように、僕は3年間の高校生活を通して、目には見えないけど確かに存在する友情や努力、そして感謝の心を学びました。入学当初、新しい環境に慣れるのに苦労し、1日1日乗り越えるだけで精一杯でした。勉強も得意ではなく、授業についていくのがやっとでしたが、クラスメイトや先生方に支えられ、少しずつ前に進むことができました。特に印象に残っているのは、英検三級に挑戦した経験です。不安やプレッシャーに押しつぶされそうでしたが、クラスメイトの努力する姿に刺激を受け、「もう少し頑張ろう」と思えました。この経験を通して、困難に直面してもひたむきに頑

「充実した高校生活」

3年K組 奥田 結

私は「野球部のマネージャー」になって新海先生と甲子園に行く」という夢を持ち、高山西高校に入学しました。部活動と進学を目指した勉強を両立させる3年間は決して楽ではありませんでしたが、本当に充実した3年間でした。

部活動に明け暮れた2年半。チームのために、新海先生のために自分ができることは何か何度も考えました。マネージャーは選手ではありません。そのため、試合の結果を決めることも、どんなに辛い状況であってもその辛さの全部をわかってあげることもできません。マネージャーという立ち位置や、選手との関わり方に悩んだ時期もありました。それでも自分がやれること、やるべきことを考えながらやってきました。「誰かのために」と動いていたことが、いつしか自分の力となり、財産となりました。3年間小さなことも一生懸命やってきたからこそ、多くの方から信頼され、感謝してもらえる存在になれたと思っています。最後の夏の大会では、初戦敗退という結果でしたが、結果以上の感動がありました。本当に0からのスタートだったチームが1年をかけて強豪校相手に戦えるようになったことが何よりも嬉しかったです。そして、本当にかっこよかったです。たった1試合でも私にとって最高の1試合でした。3年生が6人だったからこそ、私は自由に自分の理想を追い求められたのかもしれない。チームの一員として私の存在を認め、信頼してくれた仲間には感謝しています。

部活動引退後は、勉強に打ち込む日々が続きました。少ない時間で力を伸ばすことができたのは先生方の手厚いサポートと、共に頑張る仲間の存在のおかげです。頑張っている仲間が近くにいたからこそ、私も



負けずに頑張ることができました。夢を応援し、支えてくれた両親。野球部のために多くの時間を費やしてくださった上西先生、新海先生、出崎先生、谷川先生。かけがえない時間をくれた野球部の仲間。野球部の活躍を信じ、支えていただいた保護者の方々。進路目標を叶えるために、ご尽力いただいた川上先生をはじめとする多くの先生方。いつも変わらない明るさで楽しませてくれたクラスの皆。3年間多くの方に支えていただきました。この先も様々なことに悩み、その度に誰かに支えられるでしょう。しかし、助けてもらえることが当たり前ではないことを忘れず、感謝の気持ちを持って精進し、将来は誰かを支え、助けられる人になりたいです。

卒業生へ、贈る言葉



3 F 担任 山口 正晃

卒業おめでとうございます。この三年間、皆さんは勉強や部活動、学校行事など各々の定めた目標に向かって頑張ってくれました。自分と向き合いながら継続して取り組んだ経験は、来年度からの学びの基礎として皆さんを支えてくれると思います。また、これまで家族や友人など周囲の人に支えて頂いたことを忘れてはいけません。大切なものは身近にあるときには気づきにくいものではないか。感謝の気持ちを言葉や行動で相手に伝えてください。

さて、皆さんはこれから「夢叶える」ための一歩を踏み出します。これまで通り、真摯に学び、感謝の心を忘れず、気持ちよく前を向いてくれることを願っています。

どうか、健康には気をつけて。いつからっしやい。

3 G 担任 桂川 剛士

3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

来春から新しい環境での生活が始まりますが、これまであなたが身に付けた力は、自分と自分の周囲の人々を幸せにするために使ってください。

知識も思考力も体力も技術も、あなたがそれをどのように使うかによって、もたらされる結果は大きく異なります。

あなたの選択だけですべてが決まるわけではありませんが、あなたの選択は確実に周囲に影響を与えるのだということを決して忘れないでください。

みなさんの今後益々のご活躍をお祈り申し上げます。

3 F G 副担任 額 貴洋

- 卒業おめでとう。最後に、福沢諭吉の心訓七則を贈ります。
1. 世の中で一番楽しく立派な事は一生を生涯を貫く仕事を持つことです。
 2. 世の中で一番惨めな事は人間として教養の無い事です。
 3. 世の中で一番寂しい事はする仕事の無い事です。
 4. 世の中で一番醜い事は他人の生活を羨む事です。
 5. 世の中で一番尊い事は人の為に奉仕し決して恩に着せない事です。
 6. 世の中で一番美しい事は全てのものに愛情を持つ事です。
 7. 世の中で一番悲しい事は嘘をつく事です。
- 君たちの人生はこれからが本番です。この心訓を忘れず頑張ってください。

3 H 担任 菅沼 孝司

卒業おめでとう！

これから自分が決めた進路で、自分の夢実現に向かって努力していかなければなりません。

社会は非常に無情で、その厳しさに打ちのめされる時があることかと思えます。

忘れないで下さい。

その夢の実現のために、これまで様々な方が支え、応援してくれたことを。諦めないで下さい。

支え、応援してくれた人達の気持ちに無駄にしないように。

人は自分の為になかなか行動できないような気がしますが自分にとって大事な人の為なら頑張れるはず。君たちの夢は、みんなの夢であることを忘れないでください。

高校生活いろいろな経験をしてきたことと思います。大人になって一番覚えていたのは、楽しかった、辛かったという経験です。それが君たちの力となり支えになってくれることでしょう。

これからは選択の連続です。自分で決めて悔いのない人生を送ってください。「迷ったらまず行動」これからも応援しています。卒業おめでとう。

3 I 担任 元田 尚美

卒業おめでとうございます。希望に満ちた新生活、楽しみですね。しかしその反面、不安や戸惑いを感じている人も多いのではないかと思います。

人生は選択と決断の連続です。「自分の選んだ道こそ、自分にとっての正しい道！」皆さんには、これまでに身に付けた大きな力が備わっています。自分を信じて、邁進してください。皆さんの活躍を心より応援しています。

3 J 担任 下畑 耕一

ご卒業おめでとうございます！

いきなりの3年生担任に戸惑いながらも、みんなと共に時間だ1年間は最高に面白く、楽しい時間でした。卒業は、終わりではなく、次なる人生のスタートです。君たちの可能性は無限大です。

君たちにアドバイスを送るのであれば一言「時間を大切に！」です。全人類に与えられた平等の財産は何か？それは「時間」です。そんな貴重な財産である時間を何気に過ごすのではなく、自分にとって価値のある時間、ワクワクする時間にしてほしいと思います。

応援しています。みんな、頑張ってください！

3 J 副担任 萩尾 洋行

3年生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。

みなさんとは、昨年の12月からと、大変僅かな期間となりましたが、日々の学校での姿を見てみると、個性豊かな中に真面目で素晴らしい人格が形成されていると感じておりました。これは、先生方の、時には厳しく、時には優しく、心からの愛情でみなさんに接してこられた中で作りあげられたと感じております。自信をもってほしいです。

そんなみなさんです、これから様々な道に進み、時には壁にぶつかることもあると思いますが、必ず乗り越えていけると信じています。

みなさんの今後の活躍を楽しみにしております。

3 K 担任 川上 千敏

ご卒業おめでとうございます。高校生活はいかがでしたか。この3年間は長い一生のほんの一部分ですが、多感さを共有した貴重なひとときでありました。人生に大切なことは何でしょうか？夢、生きがい、家族、友だち、恋人、お金、健康、人格、闘志、……まあ、さまざまです。しかし、何を大切にするかを決めるところから、あなたの人生の方向が定まってくるのだと思います。ただし、いくらでも方向転換は可能なんです。元氣よく笑顔でお過ごし下さい。

3 K 副担任 谷川 真祥

3年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

「どんな人間も、自分が思っている以上のことができる」

今日という日までに多くの努力を重ね、大きく成長したと思います。皆さんの可能性は無限大です。自信をもって、自分のやりたいことに進んでいってください。

編集後記

歳月が過ぎ去るのは大変あっという間なものでして、初々しかった高校1年生がもう卒業を迎えます。高校入試の面接で自らの夢や目標をハキハキと話してくれたこと、をつい昨日のことのように思います。

入学当初に抱いていた夢や目標をこの3年間で達成することができましたか？

新たな夢を見つけることはできましたか？

この3年間の歩みが今後の糧になることでしょう。

あなた達の将来に幸多きことを願っています。

卒業おめでとう！

(文化委員長)

